

いじめ撲滅アピール「正義の風が吹く江並中」について

令和2年7月3日（金）

江並中学校長 平塚 剛

昨年7月3日の朝、岐阜市の中学校の生徒がいじめを原因として自死するという大変痛ましい出来事がおこりました。将来への希望に満ちているはずの尊い命が、基本的人権を侵害するいじめという許されない行為により奪われてしまったのです。

江並中ではなくても、岐阜県の中学校で起きた問題です。江並中の校長として、亡くなられたお子さまとご家族、事件が起きた中学校の生徒や関係者のみなさん、そして、江並中の生徒や保護者の皆様におわびします。

いじめはいつでも、どこでも、誰にでも起こりえます。

だからこそ、江並中では、こうした悲劇を起こすことなく、全ての生徒が安心して、自立・協働・貢献し、『ひとりだち』できるよう、「正義の風が吹く学校」を創ります。

まずは、いじめの未然防止に努めます。自分に「自信 誇り」を持っている人はいじめなどという卑劣な行為はしません。だから、生徒には「目標」を持たせ、「努力」をさせ、「自信 誇り」を手になさせます。

また、いじめを早期に発見するために、定期的に「いじめ・生活アンケート」を実施します（今週の始めに実施しました）。

そして、いじめが起きた場合は、必ず解決します。被害者は必ず守りぬきます。加害者には謝罪をさせ、よりよい自分を創る機会とします。さらに、いじめを全校の問題として捉え、全校生徒でいじめ撲滅に取り組みます。

江並中の全教職員は「いじめは絶対に許さない」「子どもたちを徹底して守り通す」という覚悟のもと、生徒、保護者、地域、警察等と連携して、いじめを社会的に解決し「正義の風が吹く江並中」を創ります。

保護者のみなさまにおかれましても、一人ひとりの子どもたちの命が、どれほどかけがえのないものであるかを伝えてください。そして、「いじめは絶対に許さない」との決意を伝えてください。また、お子さんの姿をよく見つめ、いじめのサインを発していないか、細心の注意を払っていただき、お子さんに寄り添い、困ったことや悩んでいることがないかをよく聴いてください。そして、気になることがあれば、学校に相談してください。

子どもたちのために、学校、家庭、地域が連携し、「正義の風が吹く江並中」となるよう、ご協力、ご支援をお願いします。